

整理番号	44-9	事務事業名	(青少年教育振興事業) 成人式		作成部署	生涯学習部 社会教育課	電話	内線889
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	山内 平一郎	課長職名	可児 正樹	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	昭和22年	根拠法令等	社会教育法					
" 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	国民全体で、新成人をお祝いする。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	豊かな心と個性ある文化を育むまち	(第4章)
	節	社会教育	(第3節)
	施策	青少年の健全育成	(第6施策)
目的 (ここから成果指標を導きます)	対象 (誰、又は何を)	新成人 801名(平成17年1月)	
	意図 (何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	新成人にあたり、多くの市民から祝福、激励されることによって自分たちが地域に期待されていることを認識してもらう。	
手段 (ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	平成15年度まで、式典の開催及び記念品の贈呈を行っていたが、16年度から記念品は廃止した。
		17年度	式典の開催

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	1,065	919	864	864
	合計	1,065	919	864	864
人件費 (概算)	人数(年間)	0.20	0.20	0.20	0.20
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	1,800	1,800	1,800	1,800
総事業費 +		2,865	2,719	2,664	2,664

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	成人式の通知	840通	830通	830通	830通
	記念品の購入数	650人分			
	参加者	553人	587人	600人	600人
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	参加率 (参加者÷対象者数)	66%	71%	73%	73%
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	参加者1人当たりコスト	3,400円	3,300円	3,200円	3,200円
	(総事業費÷対象者)				

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	全国的に成人式のあり方について議論されているが、本市においては特に問題が生じる状況ではない。
---------------------------------	--

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市として新成人を祝うという趣旨から、市が関与するのは妥当である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	事業の趣旨から対象や意図は妥当である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	新成人を祝う事業としては、実行委員会方式で運営していくという方法もあるが、全国的に長続きしない状況もあるので現行のシステムが適切である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	事業の趣旨からなじまない。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	対象者の7割以上が参加しており目的は達成している。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	平成16年度から記念品を廃止するなど、経費の節減を行った。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	本事業については全国的に実施している事業であり、継続的に行う必要がある。具体的な事業のあり方については、その時代に合った内容を検討し、実施していく。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	参加率も約7割と増加傾向にあり、引き続き継続していく。